

小学3年 国語「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」 へんしん！食べ物じてんを作ろう

ねらい

- ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。
- ・言葉が持つよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

学習展開（11時間）

- ① 学習のねらいや進め方を捉え、学習の見通しを持つ。《へんしん！食べ物じてんを作ろう》
- ② 食べ物図鑑を作るための食べ物を決め何に変身するのか調べる。
- ③ 段落分けを確かめ、文章の組み立てを捉える。
- ④ 「初め」の書き方の工夫について捉える。
「食べ物事典」の「初め」を考える。
- ⑤ 「終わり」の書き方の工夫について捉える。
「食べ物事典」の「終わり」を考える。
- ⑥ 「中」には何について書かれているか捉える。
- ⑦ 「中」の説明の順番の工夫を見つける。（本時）
- ⑧ 筆者の説明の工夫についてまとめる。
- ⑨ 「食べ物事典」の「中」をどのようにするか考える。
- ⑩ 友達と「食べ物事典」を読み合い、感想を伝え合う。



指導のポイント

- ・単元の学習に入る前に栄養教諭に食べ物クイズをしてもらい、食べ物がいろいろな食品に姿を変えていることに驚きを持たせた。その後、司書から食べ物の変身について書かれた本を紹介してもらい単元の学習についての意欲を持たせた。
- ・姿を変える食べ物について書かれた本の中から、担任と司書教諭で、「おいしく食べる工夫」がわかりやすく書かれている本を選択することで、児童が工夫を自分たちで見つけられるようにした。

学校図書館との関わり

- ・学校司書と相談し、すがたを変える食べ物について書かれている本の中から、児童にとって分かりやすい本を選んだ。
- ・児童が1人1冊は本を確保できるようなるべく多くの本を司書に準備してもらった。
- ・ブックトークの際に、本の、どこに、どの言葉に着目したら「おいしく食べる工夫」を見つけられるのかを司書に説明してもらった。